

第3回学校運営協議会 意見交流会～PTA役員、学校支援本部員と共に～

1 ねらい

— 教育は人 —

学校を支える様々な組織と先生方との信頼関係が基盤、
その基盤を作りましょう。

2 テーマ

- ① PTAから見た学校運営協議会、学校支援本部、そして学校（教員）
- ② 学校運営協議会等への要望

交流会の様子



発表タイム



進行：峯岸 誠CS委員（中央）

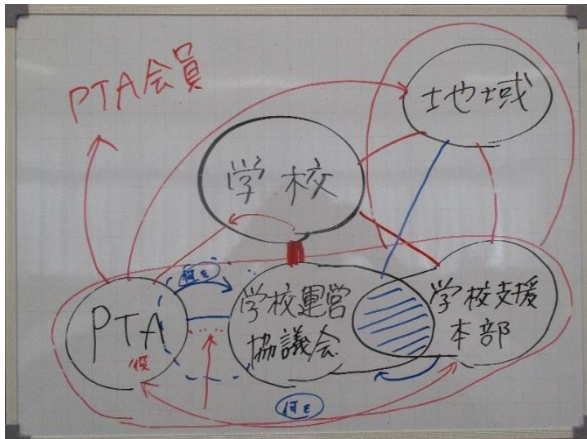


意見交流タイム



まとめタイム 担当：山中副校長

グループ発表より



テーマ①

CS 学校と校長先生の向き合い方
合議で決める。
校長先生と学識経験者などが決める。

(注) PTA 08.09の頃 学校のサポーター
グリーンキーパーなど
図書支援、元々サポーターだった所を
教育のサポーター 職場体験。

PTA活動も毎年変わっている。
その年によって状況も違うので。

CS: 学校運営協議会 学校支援本部 PTA

① 地域が中心となった
校長先生の応援団
(サポーター)

校長先生は堀小が初めてきた。
(8年前)

学校からの提案 → CS → 支援本部 → PTA

活動が見えにくい (一般的な保護者のイメージ)

見える化にしよう!

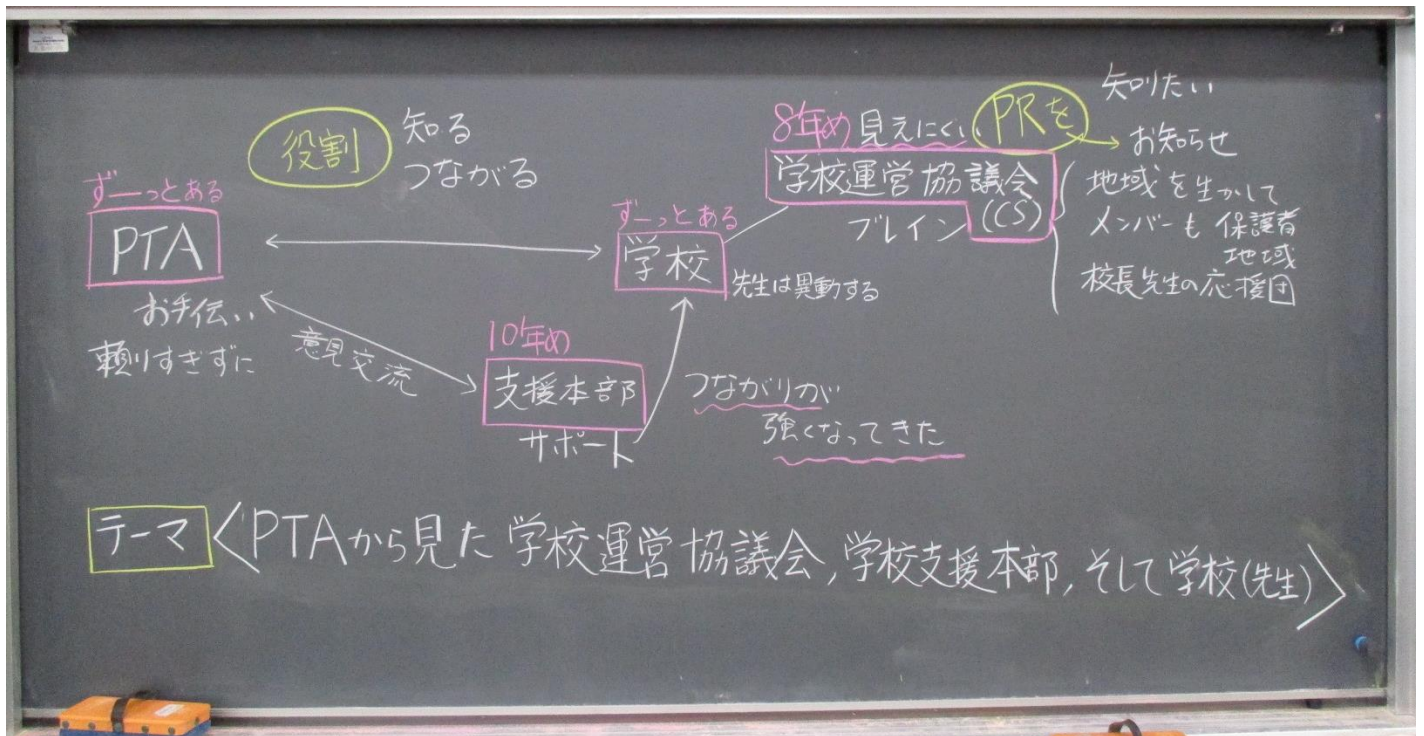
例: 校内に顔写真入りの活動報告を掲示する

支援本部、グリーンキーパー、読み聞かせ

CS. どんな学校にしていきたいか。
そのためにどんなことをしたいのか。
学校を支えていくためのアレン。
地域の子供のための地域に根ざった教育活動。
現在10名の学識経験者。

希望 保護者ももっと知ってもらいたい。
お祭り年1回なので、もっと運営が活発になる?
もっとPTAの活動を知ってもらいたい。
CSの活動を知ってもらいたい。

まとめ



- ・地域運営学校 (CS) として8年目となり、地域とのつながりが強くなってきた。(組織的な成果)
- ・教職員は異動があるけれど、学校・地域・人(子供、保護者)はずっとここにあり続ける。
- ・これからもずっと堀之内小を支えていくために、組織として、① **学校運営協議会** (校長先生の学校経営の応援団)、② **学校支援本部** (教育活動のサポート・マネージメント)、③ **PTA** (家庭と学校との連携や教育活動を支える行事・取組のお手伝い等) の役割を知り、互いにに関わり合い、助け合っていくことが大切である。
- ・各組織がPR活動を工夫して実践をもっと知らせていくことが必要である。